



第40回秋田県教育研究発表会 口頭発表の募集について

秋田県総合教育センターでは、発表会コンセプト「郷土あきたの教育への提案」の下、本県教育の振興を目指し、県内各教育機関等における教育研究成果の普及と交流の推進を図るため、令和8年2月6日（金）に、当センターを会場として第40回秋田県教育研究発表会を開催する予定です。9月1日（月）より、口頭発表による研究発表を募集していますので、奮って御応募ください。

(1) 発表者

次の①～⑤のいずれかに該当する研究に取り組んだ、県内の幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等の教職員及び教育委員会・教育機関の職員による発表を募集します。

- ① 本県教育の振興を目指して学校又は組織等に取り組んだ研究
※ ②～⑤に該当する研究を除く
- ② 秋田県教育委員会から研究発表の要請を受け取り組んだ研究
- ③ 研究委嘱や指定、各地区の研究會等で発表した研究
- ④ 秋田大学等における大学院派遣研修生及び修了者の研究
- ⑤ 日本教育公務員弘済会等の研究論文募集に応募、入選した研究

(2) 研究分野

- ① 学校運営
- ② 教科等指導（道徳科、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、特別活動を含む）
- ③ 生徒指導
- ④ 情報教育
- ⑤ 特別支援教育
- ⑥ 就学前教育
- ⑦ ふるさと教育、キャリア教育
- ⑧ その他教育に関すること（環境教育等）

(3) 発表方法等

- ① 口頭発表による研究発表を募集します（ポスターセッション形式の発表については実施しません）。
- ② 当センターの研修室等を会場に、20分間のプレゼンテーション形式での発表後、20分間の協議と質疑応答を行います。
- ③ 発表のまとめは、「提案」を基調としてください。

(4) 発表の申込み

発表を希望される方は、所定の様式により電子メールで申し込んでください。口頭発表申込書は美の国あきたネットの、当センターウェブサイト【コンテンツ番号82951】からダウンロードすることができます。

- ◆ 申込締切 **10月31日（金）**
- ◆ 申込み・問合せ先 秋田県総合教育センター
教科・研究チーム 部谷 靖子・鈴木 智美
TEL : (018)873-7203 E-mail : subject-research@e-akita.ed.jp

教育研究発表会参加申込みの受付は、12月上旬からです

教育研究発表会の概要を示した「第一次案内」を10月中旬に、参加の申込方法を記した「第二次案内」を12月上旬に、美の国あきたネットの当センターウェブサイトに掲載する予定です。上記発表の他、「センター研究発表」「講演」など様々な教育実践や教育研究に触れることができる内容となっています。多数の御参加をお待ちしております。

「星の観察教室」への御参加 ありがとうございます

8月8日（金）に「星の観察教室」を開催しました。

今年は150名以上の方々に御参加いただきました。申込者多数のため抽選を行ったプラネタリウム学習会をはじめ、駐車場での天体望遠鏡を用いた星の観察、惑星の 대기 についての実験とお話、星座早見盤の製作、星の工作等に、参加者は目を輝かせていました。

開催当日はあいにくの雨に見舞われたため、天体望遠鏡を用いた観察を、屋内での雨天時プログラムに切り替えました。星空の解説や立体シアター、天体観測室の見学を実施したことで、悪天候でも楽しむことができた、という参加者からの感想がありました。

秋田県への帰省中でしょうか、県外の小学生の参加もありました。来年もたくさんの方の御参加をお待ちしています。



惑星の 대기 について、実験をとおして楽しみながら理解を深めていました。



プラネタリウム学習会では、2種類の番組を3回上映しました。

参加者アンケートより

- ☆見たことのない星や、一等星などの明るい星を見て、明るさの違いが分かって、とても勉強になりました。
- ☆プラネタリウムの内容がとても分かりやすかったです。
- ☆「星の観察教室」の工作等で、スタッフの方々が分からないところを丁寧に教えてくださり、とても気持ちがよかったです。また来たいと思える、濃い内容の観察教室でした。とても楽しく学ぶことができました。

<お知らせ>

12月26日（金）に「プラネタリウム教室」を開催する予定です。詳細は、次号の「総合教育センターだより」でお知らせします。

公開講演を振り返って

公開講演への多数の御来場、ありがとうございました。当日の受講者の皆様の気づきを紹介します。

期日：6月27日（金） 演題「特別活動を要としたキャリア教育の推進」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 長田 徹 氏
(リフレクションシートから)

- ・教師の言葉が、将来にわたって生徒に影響することに改めて気付かされた。「具体的な目標設定は、リレーのバトンになる」という長田先生の言葉や、自己評価する力を身に付けることの大切さについても印象に残った。あっという間の講演だった。(中学校新任学年主任研修講座受講者)

期日：7月 2日（水） 演題「道徳教育のスタンスと道徳科の授業の質的向上」

講師 十文字学園女子大学 教授 浅見 哲也 氏
(リフレクションシートから)

- ・道徳の授業づくりのアイデアをたくさん学ぶことができた。人間理解、他者理解、価値理解の視点で教材を捉え、子どもたちが道徳的価値を自分のものにできるような楽しい授業をつくっていきたい。(小・中学校新任道徳教育推進教師研修講座受講者)

8月20日（水）には、秋田大学教授 北島正人氏の「引きこもりにもつながりうる児童生徒の不登校—その背景を知る—」、8月22日（金）には宮城学院女子大学教授 梅田真理氏の「発達障害の理解と支援—子どもの困難さから考える—」、9月4日（木）には静岡大学准教授 塩田真吾氏の「1人1台端末環境に求められる情報活用能力としての情報モラル教育」〔オンライン実施〕の公開講演が行われました。たくさんの方の御聴講、ありがとうございました。